

(平成29年度分)

<p>団体名</p>	<p>西宮市甲子園二・三番町自治会 防犯・防災部 西宮応急手当グループ</p>		
 <p>H. 29. 6. 11 ネオコーポ武庫川マンション住民 6年目講習</p>	 <p>H. 29. 7. 20 元気浦風いきいき体操の方達 3年目講習</p>		
 <p>H. 29. 11. 30 甲子園四番町自治会福祉部 部員</p>	 <p>H. 30. 1. 13 鳴尾北青少年愛護協議会 小学4年～5年生、育成者</p>		

いざという時、あなたは愛する家族、友人を救えますか?をキャッチフレーズに活動を初め、満11年が経ちました。

10,296名の方達と学び、1万人を越えました。この中の5人の方が実際に6人の人命救助をされました。普通救命講習では、今後の講習会をより良くさせて頂くためアンケートをお願いしています。その結果「見るのとやるのでは大違い」「体験ができて良かった」と多くの方が言われます。

西宮応急手当グループでは前ふり「救急車が来るまでに」のお話し、救命処置の手順の展示を見てもらい、どうしてそのようにするのかしなければならぬのかを詳しく説明し、何よりも実技に重点を置いています。説明も「聞く」だけでなく「見て」覚えてもらうよう色々の写真や模型などを使います。また、講習会の開催前に必ず依頼者に会い要望や年齢層を聞き、会場を見て土足ならシートを敷いてもらいジョイントマットを用意する。参加者、指導員の身体膝を守ることに気を配っています。

講習の依頼では、10年目になる公民館、スポーツクラブ21、学校、マンション、自治会とくり返し毎年依頼をくださるところが殆どです。

最近では、ここで人が倒れた さあ助けてあげましょう どうして? とっさに動くことが出来るよう実践訓練を取り入れ、止血、気道異物除去、搬送等色々のシナリオで、置いてある道具をも使い助ける。意識が戻れば回復体位にする。二人、三人法もその時行います。受講者が自分の練習が済むとじっと座って見ているのではなく、それぞれが動いて考える講習をします。

「とっさの時もあわてずできそうです」「自信をもって何かできそう」「これなら実践に役立ちそうだ」「すぐ使えそう」と、とても好評です。

憶えても勇気をもって実際に役立たなければと思います。これからも心をこめて丁寧に分かりやすく 楽しい講習を続けたいと思います。